

アートハウスおやべ開館 10 周年記念 Art House Oyabe 10th Anniversary

曾谷朝絵展“風色”

Asae Soya Exhibition "Colors of wind"

会期：2025 年 8 月 23 日（土）～9 月 28 日（日） 会場：アートハウスおやべ

いつもは目に見えない「風」に色彩が宿る、
国内外で注目を集める美術家、曾谷朝絵による北陸初の大型個展

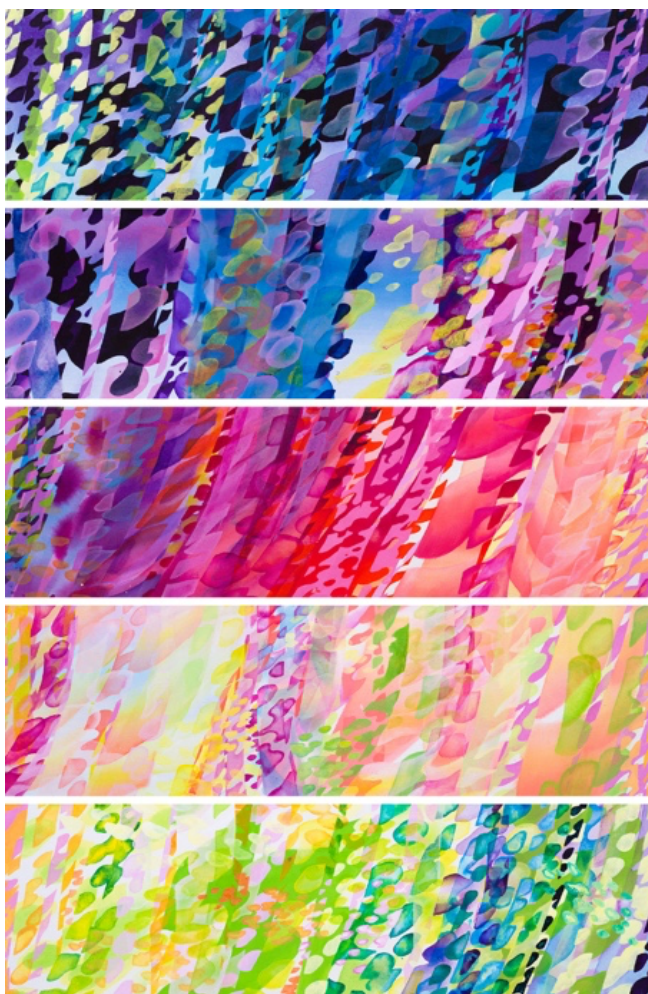
アートハウスおやべでは、開館 10 周年を記念し、国内外で注目を集める美術家、曾谷朝絵の個展を開催します。

曾谷朝絵は、光と色彩に満ちた作品群で、国内外数々の賞を受賞し、各地の展覧会で作品を発表するなど、近年さらに活躍の場を広げています。その活動は、平面作品のみならず、色彩と空間が共鳴し合う大型インスタレーションやパブリックアート、映像作品など幅広いジャンルに及びます。

本展では洗面器や海をモチーフとした油彩画の大作やパステル画、コロナ禍で都市に生い茂った雑草をヒントに生まれた水彩画に加え、曾谷のアイディアの源であるドローイング作品、全身で没入感を楽しむことができる映像インスタレーション作品、そしてアートハウスおやべの特色であるガラス面を生かした市民とのコラボレーション作品などを一挙展示します。

本展のテーマは「風色」です。なにげない日常のなかにある色彩。都市で躍動する植物のなかにある色彩。森の生命のように生まれては消えていく色彩。それは普段は目に見えない「風」のなかにある色彩。コラボレーション作品では、小矢部市民、観覧者とともに新たな「風」を生み出します。

曾谷が見だし、描き出した色彩を、風に乗りにながらお楽しみください。



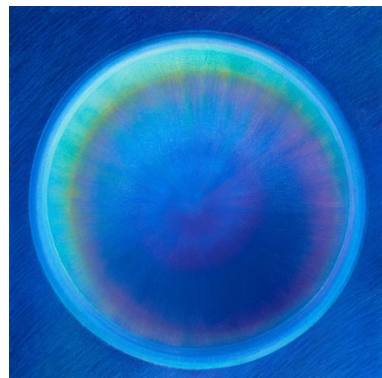
Windy Forest, 2025

本展のみどころ

日常に中に交差する色彩

展覧会は、曾谷朝絵の代表作《Washbowl》をはじめ、日常にひそむ光と色彩を描いた油彩やパステル画のシリーズから始まります。究極の日常品である洗面器が、曾谷の視点によって、光と色を映し出す舞台へと変わります。その凹状の曲面に放り込まれた光は、時に月の満ち欠けのような陰影を、時に水紋のような幾何学模様を生み出し、多彩な色彩が現れます。《Washbowl》シリーズには、そんな日常の中で交差する光と色の変化が鮮やかに描かれています。

同室には、2.4m×4mの大型油彩《fuwari》も展示。めまぐるしく移り変わる世界のなかでも光を湛えて悠然と佇む海と、日常の象徴としての洗面器のイメージが重なり、鑑賞者をやさしく包み込む色彩の世界が広がります。



Washbowl, 2025

コロナ禍の都市で見つけた植物の生命力

次室には、雑草をモチーフとした《Flow》、風に揺れる木々をジオメトリックな色彩で表現する《Windy Forest》など、都市のなかで躍動する植物の美しさと怖さ、生命力を描いたシリーズが展示されます。なかでも幅 2.2m の大作や、幅 1m の作品を 5 連で展示する《Windy Forest》は、本展が初公開となります。

曾谷は、油彩、パステルなどでじっくりと色彩を描く《Washbowl》などの作品に比べ、植物シリーズではより即興的な要素を取り入れていると言います。そこには、曾谷がコロナ禍で発見したという都市のなかの植物の暴力的なまでの生命力に対する深いリスペクトを読み取ることができます。



Windy Forest, 2025

アイデアの源、色鉛筆のドローイング

同室には、曾谷のアイデアの源となっている色鉛筆のドローイングも展示されます。ドローイングは作品を生み出すためのメモであると同時に、それ自体が作品でもあります。会場内に展示された作品の絵や文字で描かれた発想の始まりを、楽しみながら探してみてください。



Drawings, 2025

動き続ける色彩の森、没入型映像インスタレーション

最後の部屋では、《宙（sora）》と題された映像インスタレーションをお楽しみいただきます。絵画を中心にしつつ、映像作品、立体作品なども多彩に手掛けている曾谷が生み出した没入型の映像作品です。

部屋に吊るされた透ける布に、曾谷の水彩の原画から作られたアニメーションが映し出され、色彩豊かな森が生まれては消えていきます。

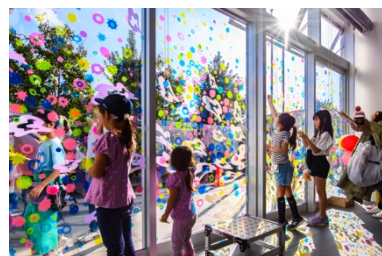
コロニーのなかで再生を繰り返す生命のような森たちは、創造することのエネルギーの象徴だと曾谷は言います。展覧会の最後に、生命の循環の美しさを体感してください。



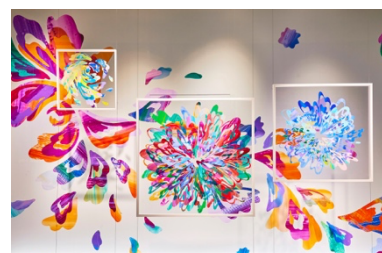
宙（sora）, 2024

約 1000 名でつくる参加型インスタレーション

オープンギャラリーでは、本館開館 10 周年を記念した特別プログラムとして、小矢部市民とのコラボレーション作品《鳴る色（Ringing Colors）》を展示します。大きなガラス面を生かして「色と音の共感覚世界」をテーマにしたインスタレーションをつくります。曾谷が制作したベースに、参加者が色を塗った小さなパーツを貼り足していくことで、風に乗って広がる水飛沫のようなかたちが立ち上がっていきます。パーツの色塗りには、会期前に市内の小学校、児童保育、福祉施設などから約 700 名が参加。ワークショップは会期中にも実施され、会期前、会期中を合わせて約 1000 人が参加予定です。展覧会を訪れる来場者とともに、作品が少しずつ完成へと近づいていきます。会場には《鳴る色（Ringing Colors）》のコラージュ作品も展示予定。



鳴る色（Ringing Colors）, 2024



鳴る色（Ringing Colors）, 2025

作家プロフィール

曾谷朝絵 Asae Soya

美術家。絵画とインスタレーションの両面で制作を続けている。光と色彩に満ちあふれたその作品は、観る者の視覚を越えて身体感覚を呼び起こす。2006年東京藝術大学大学院博士後期課程美術研究科油画専攻にて博士号(美術)取得。2001年「昭和シェル石油現代美術賞」グランプリ、2002年「VOCA展2002」VOCA賞(グランプリ)、2013年「横浜文化賞文化・芸術奨励賞」、「神奈川文化賞未来賞」他、受賞多数。2013年に水戸芸術館にて個展「曾谷朝絵展 宙色(そらいろ)」を、2022年にスパイラルガーデンにて個展「曾谷朝絵展 とことこふわり」を開催するなど全国で発表多数。東京、ニューヨークや西安(中国)などで展覧会やパブリックアート制作。2023年自身初の彫刻作品のパブリックアートを横浜、羽沢に設置。2014年文化庁在外研修員としてニューヨークに、2018年TOKAS二国間交流事業派遣クリエイターとしてバーゼルに滞在。作品集「曾谷朝絵 宙色(そらいろ)」を青幻舎より刊行。



開催概要

アートハウスおやべ開館 10 周年記念 曾谷朝絵展“風色”

- [会期] 2025年8月23日(土)~9月28日(日) 毎週水曜休館
[時間] 10:00~17:00 (入場は閉室の30分前まで)
[会場] アートハウスおやべ(富山県小矢部市鷺島10 クロスランドおやべ内)
[観覧料] 一般600円、高校生以下無料、団体(20名以上)540円、障がい者手帳をお持ちの方300円、タワーセット券850円
[主催] アートハウスおやべ〔(公財)クロスランドおやべ〕
[共催] 小矢部市、小矢部市教育委員会
[後援] 小矢部市芸術文化連盟、北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞北陸支社、北陸中日新聞、朝日新聞富山総局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、FMとやま、エフエムとなみ、となみ衛星通信テレビ
[協力] スパイラル/株式会社ワコールアートセンター、西村画廊、株式会社中川ケミカル、合同会社企画室
[協賛] 県民芸術文化祭2025
[助成] 公益財団法人朝日新聞文化財団

会期中イベント

開会式・作家によるギャラリートーク

開会式に続き、出展参加の曾谷朝絵によるギャラリートークを実施します。

- [日時] 8月23日(土) 10:00~11:00
[会場] アートハウスおやべ

参加型ワークショップ「鳴る色」

小さなパーツに色を塗ってガラス面に貼り足し、風に吹かれる「鳴る色」をみんなで広げていきましょう。

※小学生以下の方は保護者同伴でご参加ください

- [日時] 会期を通して開催(材料なくなり次第終了)
[会場] アートハウスおやべオープンギャラリー
[料金] 参加無料

交通のご案内

- [鉄道] あいの風とやま鉄道石動(いすぎ)駅
南口から 徒歩 約30分、タクシー・車 約4分
[高速道路] 北陸自動車道小矢部I.C.より車で約7分
能越自動車道小矢部東I.C.より車で約7分

お問い合わせ

アートハウスおやべ 担当:二塚望 mail: futazuka@art-oyabe.jp
TEL. 0766-53-5344 FAX. 0766-53-5844



広報用画像

広報用の画像をご用意しております。ご希望の方は下記をお読みの上、ご連絡ください。

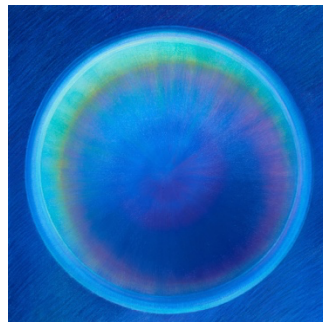
- ・掲載の際は必ずクレジットの表記をお願いいたします。
- ・作品画像のトリミング、加工、文字載せ等をご遠慮ください。
- ・そのほかの作品画像をご希望の場合は、担当までご連絡ください。
- ・掲載写真と実際の出展作品は異なる場合があります。

お問い合わせ

アートハウスおやべ 担当：二塚望 mail: futazuka@art-oyabe.jp TEL. 0766-53-5344 FAX. 0766-53-5844



01 Windy Forest, 2024
acrylic on cotton on panel
30×100cm×5pieces



02 Washbowl, 2025
pastel on cotton on panel
80.5×80.5cm



03 fuwari, 2022
oil on cotton on panel
240×400cm



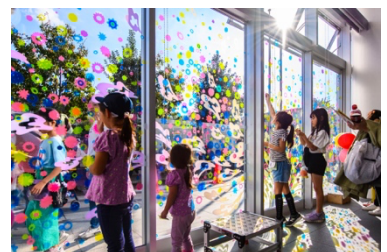
04 Windy Forest, 2025
oil on cotton on panel, 80×220cm



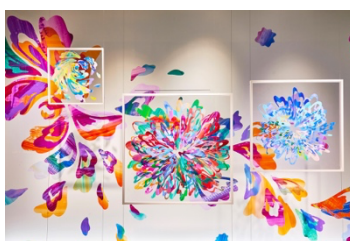
05 Drawings, 2025
color pencil on paper,
21×29.7cm



06 宙 (sora), 2024,
animation, cloth, dimension
variable,
アートガーデンかわさき、
神奈川、
Photo: Keita Yamamoto



07 鳴る色 (Ringing Colors), 2024
cutting sheet on glass wall,
dimension variable,
港南区役所 1 階区民ホール、神奈川、
Photo: Kei Matsushita



08 鳴る色 (Ringing Colors), 2025
acrylic on PV sheet on acrylic
board, dimension variable,
高島屋日本橋店、東京
Photo: Yasuhiro Hiyama



09 Photo: Kuniko Hirano